

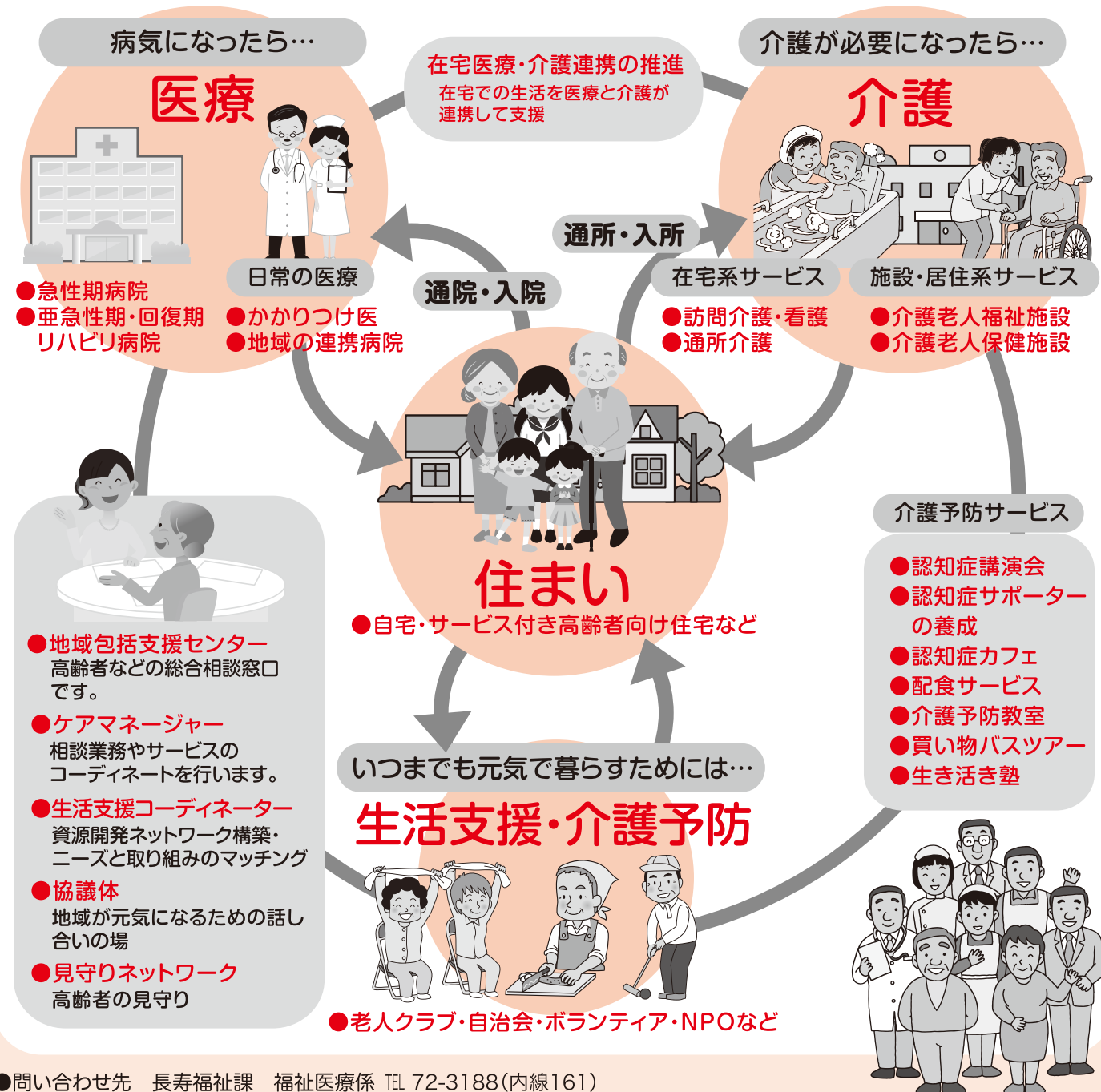
地域包括ケアシステムの確立に向けて

介護が必要になった時、医療・介護の制度だけでは、地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護保険法の改正により、「地域包括ケアシステム」の構築が義務化され、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた在宅医療と介護の連携推進、地域ケア会議の推進、介護・予防・日常生活支援総合事業の創設による充実した取り組みが2025年までに求められています。

「地域包括ケアシステム」は、行政だけでなく、介護・医療・福祉の関係者、社会福祉協議会、自治会、NPO、ボランティア、地域住民など地域の力を結集し、高齢者の日常生活を地域全体で支えていく仕組みです。このため、地域包括ケアシステムが有効に機能するには、住民による地域づくりの視点が不可欠です。また、地域の自主性や主体性、特性に応じた町独自のケアシステムを構築するため、生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)を設置し、地域で支え合うための協議を進めます。

既存事業の取り組みを充実強化し、さらに、新たな地域包括ケアシステムへの取り組みを合わせて実施していくことで、住み慣れた地域でいつまでも自分らしい暮らしを続けられる環境づくりを目指します。

上毛町地域包括ケアシステムの姿



住み慣れた地域で いつまでも自分らしい 暮らしを続けるために

町の高齢化率(65歳以上人口)は、合併当時28.4%でしたが、平成30年6月末現在34.3%に達し、福岡県内でも高い水準であり、今後も高齢化が進むと予測されています。

こうした中、全国で在宅での介護や療養を希望する人が増えています。厚生労働省が行った「介護保険制度に関する国民の皆さまからのご意見募集」では、介護が必要になった場合でも7割以上が自宅での介護を希望しており、医療についても6割以上の方が自宅療養を望んでいます。このような要望を満たしていくためには、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりが必要です。

健康寿命の延伸に向けた町の取り組み

1 「上毛生き活き塾」

年をとっても自分らしい暮らしを続けるためには、身体の健康状態を保つことが必要です。そのため、平成29年度から町では健康づくりや介護予防に資するさまざまなプログラムを実施する「こうげ生き活き塾」を開催し、健康寿命の延伸を目指しています。

- フレイル対策事業
 - *フレイル予防講演会(11月予定)
 - *フレイルサポーター養成研修(11月予定)
 - *フレイルチェック(随時)
- 介護予防プログラム
 - *ノルディックウォーク教室(7・11・3月予定)
 - *生き活き講座(随時)
 - *こうげの体操づくり(随時)
 - *口腔ケア推進事業(随時)



2 買い物支援(モデル事業)

高齢者世帯が、地域で自立した生活をおくれるよう取り組みを進めています。どの事業もモデル事業として実施していますのでご意見やご要望をお寄せください。

- 移動販売
 - *町内7ヶ所/販売車による地区ごとの販売
 - 毎週木曜 安雲拓心苑、原井集会所、さざんか荘、野中内科クリニック第2駐車場
 - 毎週金曜 吉岡公民館、東上集会所、唐原コミュニティセンター
- 買い物バスツアー
 - *月2回/豊前市のスーパーなどへ送迎
- 道の駅宅配サービス
 - *配達日/月、水、金(祝日除く) 800円以上で配達



3 その他介護予防

フレイル対策の一環として体力づくりが必要とされる住民に対して気軽に楽しく取り組める体操を開発します。

特集 まちづくりの現場から

このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、上毛町第2次総合計画に掲げている事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「地域包括ケアシステムの確立に向けた取り組み」の特集です。